

夢きらり

自分の命は自分で守る!

今週月曜日に、避難訓練を実施しました。今回の避難訓練は、地震を想定してのものでした。第1避難所までの避難時間は、1分02秒で、とても素早く避難することができました。その後、洪水により川が氾濫する恐れがあるという想定で、雷神山まで避難する訓練も行いました。子ども達は、交通ルールをしっかりと守って安全に移動することができました。

東日本大震災発生から7年半が過ぎて、私たちも少しずつ危機管理が薄れてきている感じがします。そして、子ども達に、「東日本大震災のことを覚えている人」と聞いてみたら、何と誰もいませんでした。東日本大震災発生時は、最上級生の6年生でも4歳で、幼稚園の年小組だったのです。

近頃、異常気象が続き、台風、豪雪、大雨、猛暑、地震等、人の力では防ぐことのできない自然災害が頻繁に発生しています。台風21号や北海道での地震では、大きな被害が出てしまいました。そして、尊い命も奪われています。子ども達が、これから先、自然災害で大きな怪我や命を落とすことのないように、「自分の命は、自分で守る」ことを避難訓練をとおして、しっかりと身につけさせていきたいと思えます。



校舎から避難する子ども達



雷神山へ移動する子ども達

あいさつ・あんぜん・あとしまつ

「あいさつ・あんぜん・あとしまつ」これは、以前勤務した学校の校舎に大きく掲げられていた看板に書かれていた言葉です。「いつでも、どこでも、だれにでも、しっかりとあいさつ・あんぜん・あとしまつ」をしましょうというものです。高郷小学校の子ども達は、とても素直で、学校内では、しっかりと挨拶したり、ルールを守ったり、片付けをすることができています。しかし、一歩学校から出た時の様子を見ると、ちょっと違った姿が見られる時があるようです。

- ① 地区での挨拶はどうでしょうか？朝、登校の様子を見ていると、地域の人から「おはよう。」と声をかけられても「学校内のように大きな声でしっかりとできずに、小さな声で恥ずかしそうに「おはようございます。」と言っている姿が見られます。
- ② 地区や児童クラブでの過ごし方は、どうでしょうか？ルールを守って安全に過ごしているのでしょうか？自転車の乗り方は大丈夫でしょうか？ヘルメットはしっかり被っているのでしょうか？自分の命を自分で守るためにも、ルールを守らせたいものです。
- ③ あとしまつは、どうでしょうか？学校では、使ったものをしっかりと片付けてすることができています。地区や家庭、児童クラブでは、後始末をしっかりとできているのでしょうか？例えば、脱いだ靴やスリッパなど揃えることができていますでしょうか？

「学校では、できているけど・・・」では、本当に力がついているとは言えないと思えます。「いつでも・どこでも・だれにでも」できて初めて身についたと言えます。学校と家庭と地域で協力して「いつでも・どこでも・だれにでも」実践できる子ども達に、育てていたいと思えます。ご協力をよろしくお願い致します。



揃えられた傘やスリッパ、どこでもできるといいですね。

